

# みんなで水辺環境づくりワークショップ 活動だより



## 第1回ワークショップを開催しました

三次市の三川合流部（さんせんごうりゅうぶ）の水辺環境を考える、第1回「みんなで水辺環境づくりワークショップ」を3月28日（土）13：00から三次市生涯学習センター3階交流ホールで開催しました。

このワークショップは、河川の魅力を最大限に引き出し、自然と触れ合う交流の拠点となるような賑わいのある水辺環境を創出するため、地域住民や国、市などが一緒になり話し合いを行う場です。

また、アドバイザーとして、広島国際大学 橋本清勇准教授を迎えました。第1回ワークショップでは、参加いただいた29名の地域のみなさんから、活発な意見や提案がありました。全4回（予定）行われるワークショップを通して、いろんな立場の方が思い描く、将来の水辺環境について、カタチにできるものと考えていきます。



### ワークショップの流れ

事務局がワークショップの趣旨やスケジュールを説明した後、現状の確認を国交省の説明や写真を使って行いました。

その後、グループに分かれて、三川合流部全体の自慢と課題の抽出、方針の検討を行い、まとめた結果を発表しました。

- ①趣旨説明
- ↓
- ②現状の確認
- ↓
- ③自慢と課題の抽出
- ↓
- ④方針の検討
- ↓
- ⑤グループ発表



事務局説明でスタート!

真剣な様子で説明を聞く参加者

各グループで活発な意見が出されていました



スライドを使った現状の確認



グループに分かれての話し合い



検討結果の発表

## 第2回ワークショップ

日時：5月24日（日）10：00～12：00（終了予定）  
場所：みよしまちづくりセンターペペラホール

### グループでの検討内容

グループごとに検討された「自慢」、「課題」について主な内容を紹介します。

#### 1・2班

1・2班合同で検討しました。



#### 【自慢】

- ・ 鵜飼
- ・ 地域を取り囲む橋
- ・ 霧の海
- ・ 広い河川敷の川辺
- ・ 土手沿いの桜

#### 【課題】

- ・ 昔は川で泳ぐことができたが、今は川に近づくことができない
- ・ 北溝川の水量が少ない
- ・ 土手の遊歩道が分断されている

#### 3班

三次の方を中心に検討しました。



#### 【自慢】

- ・ 尾関山の桜
- ・ 霧の海や、冬景色など景観が素晴らしい
- ・ 観光資源である鵜飼
- ・ 昔は水量が豊富だった

#### 【課題】

- ・ 河川空間内にある立木が景観的に良くない
- ・ また、立木によってゴミが溜まる
- ・ 水量が少なくなった

#### 4班

複数の地域の方で検討しました。



#### 【自慢】

- ・ 十日市親水公園でスポーツが盛ん
- ・ 三川合流部、巴橋周辺の景色が美しい
- ・ 水辺の動物が豊富
- ・ 桜並木が美しい

#### 【課題】

- ・ 土手の交通量が多く、歩道がないため危険
- ・ 水量が少ない
- ・ 川に降りにくい
- ・ 遊歩道が分断されている

#### 5班

八次の方を中心に検討しました。



#### 【自慢】

- ・ 花火大会
- ・ 河川周辺でのウォーキングが盛んである
- ・ 水鳥や草花が豊富
- ・ 馬洗川祭り

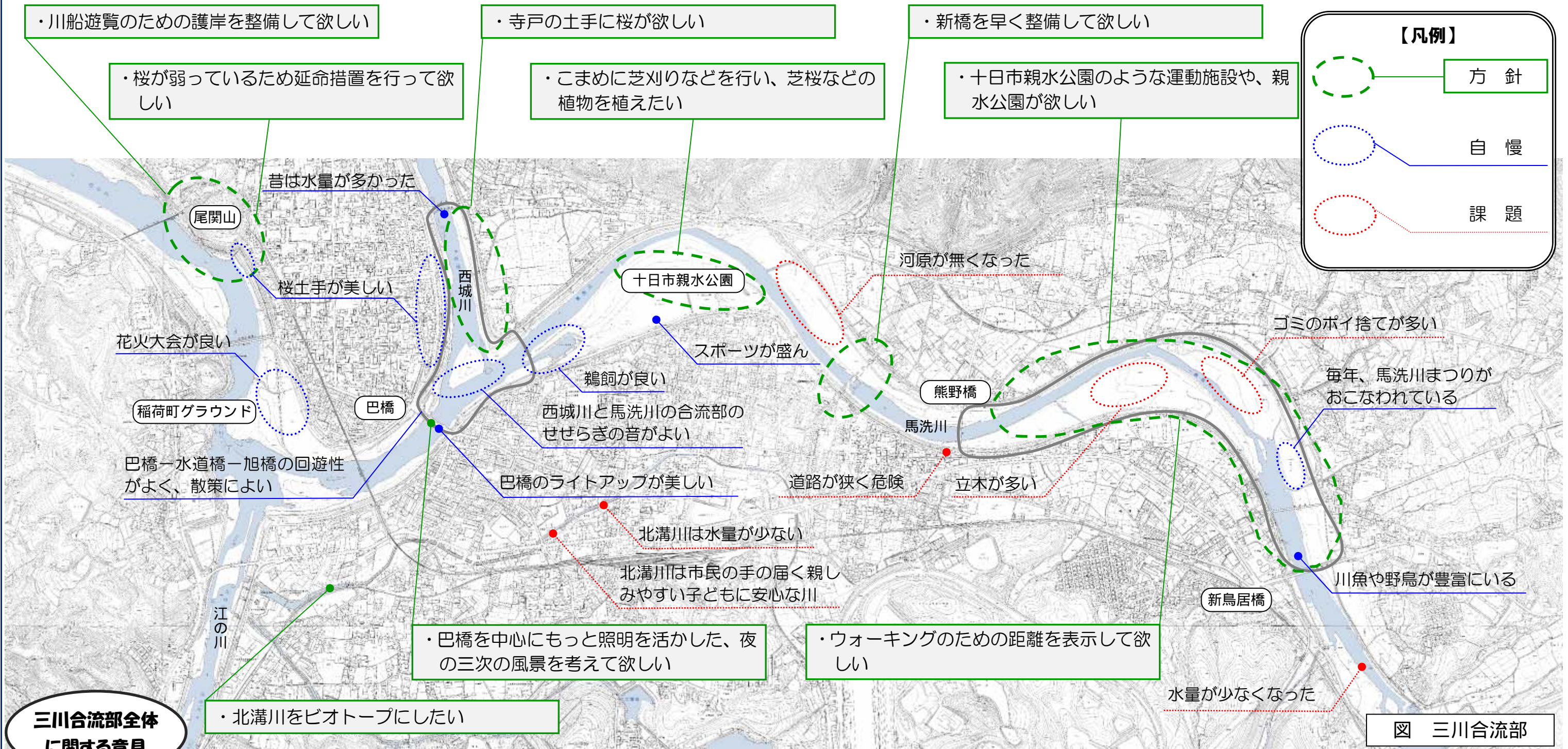
#### 【課題】

- ・ 川の中に木が茂っている
- ・ 水量が少なく水質が良くない（馬洗川）
- ・ 車からのポイ捨てがあり、マナーが良くない

## ■ワークショップで出された意見

グループごとに検討された「自慢」、「課題」、「方針」(こうして欲しい、こうあって欲しい)といった内容を関連する位置と一緒に示します。

なお、ここで示された意見は全てではありません。また、これらの意見を基に今後、みなさんと協議・検討していくものであり、計画として決定したものではありません。



・観光、いやしの空間、子どもが遊べる空間などゾーンを決めて水辺を活用してはどうか

・現在も地域で維持管理を行っているなど「地域力」があるので、新しく整備が行われても、継続して維持管理に協力する

・川辺の周辺を巡ることができるように遊歩道を整備して欲しい

・虫が大量に発生するので虫対策を考えて欲しい

・様々な世代が交流することのできる場にして欲しい

・散歩の途中で休むことのできる場所を整備して欲しい

・河川空間にある立木や生い茂った植物などを刈りとってきれいになりたい

・動植物の豊富な川にしたい

・現況の護岸を階段式にして欲しい

・水辺に近づけるようにして欲しい

・子どもが川で安全に遊べるようにしたい

・川辺にカフェが欲しい